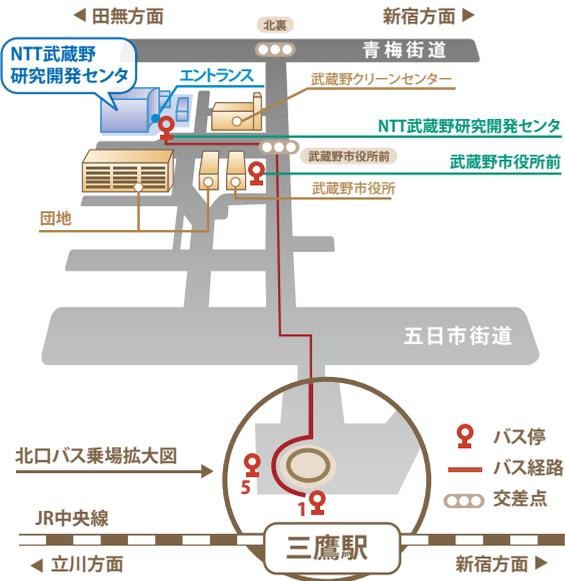




交通



JR中央線「三鷹駅」
北口よりバス

- 1番バス乗場から、「北裏」か「武蔵関」か「田無橋場」行に乗車、「武蔵野市役所前」にて下車、徒歩5分。(所要時間約15分)
- 5番バス乗場から、「NTT武蔵野研究開発センタ」行に乗車、「NTT武蔵野研究開発センタ(終点)」にて下車。(所要時間約10分)

西武新宿線「東伏見駅」
南口より徒歩15分

タイムスリップの
↓ 入口へようこそ!

NTT技術史料館

NTT技術史料館 (完全予約制)

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11 NTT武蔵野研究開発センタ

お問い合わせ先 NTT情報流通基盤総合研究所 企画部 広報担当
Tel: 0422-59-3652 e-mail: mvisit@lab.ntt.co.jp

<http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/>

「NTT技術史料館」は、NTTグループの膨大な技術史料の集大成。
未来に伝えたい、日本の通信を支えてきた
歴史的資産をご覧いただけます。

NTT History Center of Technologies

明日の創意のために
For Future Invention



大豆油インキとFSC認証紙を使用しています。

つながり。それは、ECO



暮らしへ社会へ、 そして世界へと広がった NTTの情報通信技術。

その系譜と一貫した技術の潮流をご紹介します。
明日の世代へ伝えます。

明治2年の電報事業から、逓信省、電気通信省、日本電信電話公社、そして民営化後のNTTグループと、日本の電気通信事業は、形を大きく変えながら飛躍してきました。日本の通信技術の変遷は、NTTグループの技術開発の歴史とも言えます。NTT技術史料館は、日本の通信事業のルーツから、日本電信電話公社発足以降の半世紀を中心として、NTTグループが開発してきた電気通信技術の集大成として数多くの貴重な史料を展示しています。

それぞれの時代に生み出された数々の技術を見、独自の技術開発にかけてきたNTTグループの創意と努力を知っていただくことで、次世代のさらに厳しい技術開発競争に挑む人々の糧となれば幸いです。

新しい時代を切り拓いていく人々が、NTT技術史料館の史料を通じ、これまでの日本の通信技術の発展に思いを馳せ、新しい創意の源泉となっていくことを祈念いたします。



館内展示構成

「歴史をたどる」

- ① 電信電話とははじめから
地下1階
- ② 復興と成長の時代
1950年代から
地下1階
- ③ 技術革新と多様化の時代
1970年代から
1階
- ④ デジタル技術と
マルチメディアの時代
1980年代半ばから
2階
- ⑤ 技術史のラウンジ
3階

「技術をさぐる」

- I サービスとネットワークのひろば 1階
 - A ノードの技術(交換、ソフトウェア)
 - B オペレーションの技術(オペレーション、ソフトウェア)
 - C トランスミッションの技術(伝送、線路、無線)
 - D ファシリティの技術(建築、電力)
- II アクセスとターミナルのひろば 2階
 - E アクセス系システムと所外インフラの技術(線路、伝送、無線、土木)
 - F ユーザ機器の技術(宅内)
 - G NTT技術のひろがり(基礎・基盤、ソフトウェア、国際標準化、海外活動、環境保護推進)
- III コンピュータとモバイルのひろば 3階
 - H 文字・画像の通信とサービスの技術(OIPS、電報、パケット、画像、データ)
 - I モバイルネットワークの技術(移動体)
 - J 情報流通の新技术(新技术)

日本の電話創成期から携帯電話、宇宙通信まで幅広い通信技術や通信サービスの移り変わりを電話機や交換機の実物と模型の展示、映像で紹介し、館内の展示物を実際に見ることで、通信技術の歴史をたどることができます。



見る

見る



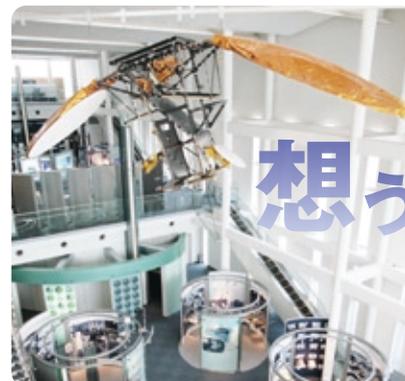
知る

インターネット全盛の今、社会システムは情報ネットワークなしでは語れなくなっています。日本電信電話公社・NTTグループの技術開発の歴史をたどることで、社会を支える高度情報ネットワークの全貌を知ることができます。



知る

これまでの電気通信の歩みに触れ、通信技術開発の歴史を知ること、新しい時代を拓く情報通信技術に想いを馳せていただくことができるでしょう。当史料館は、これからも止まることのない技術開発を応援します。



想う

想う